

# 明日へ向かって駆ける

## 農業法人の経営者は語る

(株)マイファーム滋賀農場 代表取締役社長

## 谷 則男さん

「耕作放棄地をゼロにしたい。そのためには担い手をしっかりと育てて、農業で生活ができるようにすること。それが農地を荒らさないことにつながる。そんな思いで立ち上げた法人だ」と話すのは、(株)マイファーム滋賀農場(本社・滋賀県野洲市)の代表取締役社長で、城陽市の京都支店の責任者を務める谷則男さん(53)だ。

谷さんは、2007年に京都市内で設立された同社の親会社である(株)マイファームの創業者と知り合いだったことから、翌年に農業現場を熟知したベテラン農家として迎えられ、顧問として経営に参加することとなった。

# 就農の受け皿つくる



▶ 新規就農者の育成を頑張る谷さん

(株)マイファームでは、遊休農地を借り入れた貸農園の他、就農を目指す若者が農業を学ぶ「アグリイノベーション大学校」の運営を行っている。

「せっかく同校を卒業しても、利用できる農地がなければ就農できない。農地を確保して一人前の農家に育てていくため、受け皿となる法人が必要と考えた」と谷さん。10年に自身も出資し、子会社

として同社を立ち上げた。同社が農地を借り入れ、卒業生らが同社の指示・管理の下で農作業を行い、実地の農業を学ぶ。利用してきた農地と一緒に独立させていく方式だ。

谷さんは「15年4月に私が株式を全て取得し、独立会社にした。(株)マイファームとは、今まで通り良好な関係を維持しながら、担い手を育てていきたい」と話す。

滋賀県内では、ハウスと露地を合わせた3・8畝で葉物野菜(小松菜、水菜、ホウレンソウなど)を生産。多くの卒業生を受け入れて実践研修を行っている。府内でも、今後はJA京都やましろや行政などと連携し、同様の担い手育成や、6次産業化も視野に入れた事業展開を行う考えだ。

谷さんは「経営者として利益を上げることが大切だが、農業に興味のある人が農業を体験できるような仕組みをつくり、その中から本格就農を希望する人が農業を学び、独立をサポートする経営を目指したい。若者が独立してからも、一緒に農業を盛り上げていけるような仲間もつくりたい」と話す。

法人所在地 〓 本社は滋賀県野洲市竹生長敷2234、(電)077(587)3401。京都支店は城陽市長池里開109、(電)0774(56)03888。

法人概要 〓 2010年設立。役員3人、従業員6人、パートタイマー(農繁期)3人。農地3・8畝(うちハウス1・4畝)。農機はトラクター2台、管理機2台、播種(はしゅ)機3台。